



変わる地区公民館

教えて！ コミ・プラ※

※コミュニティ・プラットフォームの略称



南九州市には、
20の地区公民館があります。

この地区公民館が
今 変わろうとしています。

取り組み内容はさまざまです。

- ・ 素敵な居場所づくり
- ・ 特産品開発
- ・ マルシェの開催
- ・ 有償ボランティアによる
環境整備や支え合い活動
など

住民がアイデアを出し合って
地域の課題を解決しながら
日々の暮らしを豊かにしようと
取り組んでいます。

取り組んでいる地区

【頼娃地域】

郡地区、宮脇地区、御領地区

【知覧地域】

手藁地区、霜出地区、松ヶ浦地区

【川辺地域】

大丸地区、勝目地区
高田地区、清水地区
田代地区、神殿地区

松山地区、
中福良地区も
話し合い活動を
始めました。



各地区の計画書など
詳しくは市ホームページをご覧ください。

南九州市の コミュニティ・プラットフォームとは

地区公民館が中心となり、地域のさまざまな団体（自治会、学校、企業、NPOなど）が連携して課題解決に取り組もうとする住民自治の基盤となる組織のことです。

コミュニティ・プラットフォーム取り組みの一例

話し合い活動

住み続けたい、こうありたい地区の姿を求めて、まず「思いを語る」ことから始めます。

課題、目標、夢……みんなで話すと、さまざまな視点に気付くことができます。



多様な意見が地域づくりの土台になります



地域づくりについての学びの場

話し合い活動をもとに、さまざまな活動をおこなっています

交流の場・居場所づくり

みんなが主役！世代を越えて交流できる場、居場所を地区に創出します。



おしゃべりしながら生け花を楽しむ

支え合い活動

個人や自治会でちょっとしんどくなってきたことを地区で支える



仕組みづくり。できることを少しずつ、の精神でみんなに役割があるはず。

地区公民館長の声

～先進的に取り組んでいる地区公民館長の声を紹介します～

宮脇地区公民館

山脇 勝次 館長

市のモデル地区としてスタートした宮脇地区のコミプラ事業は、12回におよぶ「宮脇かたる会」の実施をとおして地区民の要望など意思確認を行い「みやわき10年戦略ビジョン」を策定しました。

地区内にあるNPO法人いっしょき宮脇もメンバーとして活動を行っています。地区民総参加の事業推進により自治会のみでなく、地域の方々の顔が見える交流が出来るようになり一体感が醸成されつつあります。

令和5年度から「3人組制度」に取り組む、今後ますます、地域内における互助・共助によるまちづくりの展望を目指していきたいです。



地区の皆さんで賑わう「いっしょきフェスタ」の様子

松ヶ浦地区公民館

平石 大 館長

計画した23個のプロジェクトの内、現在動いているプロジェクトは①特産品開発②高齢者生活支援③安心安全④情報発信の4つになります。地域のために始めたプロジェクトを進める中で思ったことは、地域住民の幸せな暮らしを願う気持ちとは裏腹に、我々人間社会の活動は必然的に基盤となる地球環境を汚染しているということです。

今後は、自然な営みによる取組を工夫しながら、地域活性化と地域の自然環境を守ることを両立させ、ひいては地球環境にも優しい活動をしていきたいと思っています。

いもだんごのイメージキャラクター



いも枝ばあちゃん & こいもちゃん



特産品の「いもだんご」作りの様子

高田地区公民館

刈川 澄秋 館長

コミプラ事業を導入して大きく変わったのは、地区の人口が減少し高齢化がどんどん進む中で「愛護作業がやりにくい」などいろいろな問題が出てきていることが分かり、それを少しでも自分たちの力で解決していくという意識が出てきたことです。しかしなかなか地域住民まで伝わっていないのが現状です。計画の実現はなかなか難しいのですが、地域住民にこの取組の大切さを分かってもらう努力をし、理解と協力を得ながら「じゃっどすつど夢の里高田」の実現に向けて頑張っていこうと思います。

高田のキャラクター



マイ米 (マイ)



作業負担軽減のため環境整備組合を設置しました